

スロライフ

ベーシックインカム制度や生産の自動化によって、お金の価値は変化し、働かなくても暮らしていける未来が訪れるかもしれません。悠々自適なスロライフの中で、好きなことで生きていく取り組みが重視される未来が訪れそうです。

No.47 / ヒント：スロースライフ×生活の変化

時間の流れの操作

物理学の研究が進み、時間の進みを操作できるようになる

背景：忙しい現代社会の中で、限られた時間のなかで田舎のような暮らしを体験したい人も多い。

効果：都会にいらながらも田舎暮らしのようなスロースライフが送れるようになり、実際に田舎に移住を希望する人が増える。

No.48 / ヒント：

服を着なくなる

バーチャル世界で服を好きな服を好きな時に着れるのでリアルでは着なくなる。

背景：菌や病気が蔓延し外に出れなくなったり、ネットで仕事ができて配送で暮らせたら、ずっと家に居ようになり服を着るの必要がなくなる。

効果：ファッションの大量生産・大量廃棄がなくなり環境に良いバーチャル世界では貧困の格差を気にせずいられる。ファッションにかけるお金が必要なくなり生活に余裕ができる？

No.49 / ヒント：スロースライフ×キャッシュレス

街を現金ゼロ宣言

街全体で現金の流通を無くせば、キャッシュレスに素早く対応できる。

背景：都会と田舎のキャッシュレスの差が激しいから。

効果：高齢者でも、田舎の人でも、キャッシュレスに慣れるし、現金トラブルがなくなる。

No.50 / ヒント：スロースライフ×AI問題

都会疲れ者の移住

都会疲れした人たちが田舎でのスロースライフを求めるようになる。

背景：都会はAI技術が進歩しすぎて機械系が苦手な人が田舎を求めるようになる。

効果：田舎の人口増加。

No.51 / ヒント：スロースライフ×電腦空間

丹波でリアル「どうぶつの森」

丹波に、自給自足で田舎体験できる区域をつくる。資金0でも田舎暮らしを体験できる。野生動物ともふれあえる。

背景：田舎暮らしを体験したい人はいても、金銭的な面などでなかなかできない人がいる。

効果：気軽に田舎体験してもらうことで、田舎の良さを知ってもらえ、移住してもらうことにつながる。

No.52 / ヒント : スローライフ×格差社会

まちの役割完全分離

まちの区域が、居住、商業、農業、など、役割が完全にゾーニングされる。

背景：今後の人口移動の仕方次第では、一部の地域に人口が集中する可能性がある。

効果：居住ゾーン、商業ゾーンなど、役割を特化させた区域を広域に偏在させることで、人口の集中を防ぐことができる。

No.53 / ヒント : スローライフ×格差社会

ていねいな暮らし

貧乏→暇なしということは、暇があれば貧乏じゃないということで、農業しながら日々を丁寧に過ごそう。テーマは「晴耕雨読」

背景：現代人はなにかと忙しい。だからきっと貧乏なんだよ。

効果：贅沢はできないけど、そこそこの暮らしは獲得できる。

No.54 / ヒント : スローライフ×エンタメ

非現実

自分が妄想していることがバーチャルに作り出された非現実的な体験ができるシステム。

背景：妄想がデータ化される。

効果：ストレス軽減。

No.55 / ヒント : スローライフ×AI問題

AIから逃れるスローライフ生活

AIから管理されることが嫌になる人に対して、AIから逃れられる町として丹波地域を売り出す。

背景：AI問題によってAIに管理される社会が問題となる。

効果：AIが嫌いな移住者が増える。

No.56 / ヒント : スローライフ×戦争

自給自足、全自動→争いはおこらない

自給自足で必要なモノがすべて身の回りにあったら、争いが起こらない。

背景：足りないものがあるから、それを求めて争うけど、すべて自給自足できたら争う必要がない。

No.57 / ヒント: スロースライフ×ベーシックインカム

ライフプランニングしやすい社会

学ぶ機会や子どもを産んだり育てたりすることに時間や神経を使えるように、人生をゆったりと楽しめる余裕を持てるような保障

背景: やりがいを感じて働いているのではなく、ギリギリの生活を送っている人は子どもを産んだりする事が難しい。

No.58 / ヒント: スロースライフ×高度な移動

空き時間全部山生活

移動の手段が高度化する中で必要業務以外のすべての時間を山で過ごす事が可能になる。

背景: 個人ドローンなどの移動技術が確立。

No.59 / ヒント: スロースライフ×高度な配送・転送

手作り野菜を海外に出荷

人口爆発を起こしている地域に新鮮な野菜を配送することで外貨を稼ぐ。

背景: 海外に向けての小型ジェットなどの運用。

No.60 / ヒント: スロースライフ×エンタメ

オフラインエコビレッジ

テクノロジーの発達に適応できなかった人たちが暮らすオフラインの地区。

背景: 技術の進歩についていけなくなった人たちには仕事もなくなる。その上であえて機会にも AI にも頼らない地区を作る。

No.61 / ヒント: スロースライフ×電腦空間

いつでも行ける里山

VR 技術を使いいつでもリアルな体験をどこにいても体感できる最先端里山。

背景: VR 技術の革新でリアルな体験と同じ感覚を体験できる様になる。

No.62 / ヒント: スロースライフ×AI の発展

自給自足の最適化

AI を使ってスロースライフを完璧にサポート。

背景: AI の技術で自給自足に必要な全ての情報を管理。

No.63 / ヒント : スローライフ × 全自動化

全自動エコビレッジ

必要な労力以外の全てを自動で最適化する技術。

背景 : ロボットと AI の普及によって最適解を手に入れることが出来るようになる。

No.64 / ヒント : スローライフ × 死後の世界

死ぬ前に住む村

終末期医療の特区を自然の中に作る

背景 : 医療が各家庭である程度完結できる様になる。死ぬことを覚悟できる集落を作る。

No.65 / ヒント : スローライフ × 田舎の概念が変わる

自然の中で生活できる贅沢

自然の価値があがることで土地の価値も上がり自然の中に住むのは贅沢なことになる。

背景 : AI の発展により人間らしい生き方に価値が上がる。

No.66 / ヒント : スローライフ × 趣味で生きていける

個性しか存在しない場所

みんなゆったりと自分の趣味を満喫できる環境がある。

背景 : やること (仕事) がなくなった人たちは自分の本当にやりたいこと (趣味) を見つけにかかる。丹波地域がそれを満喫するような桃源郷のような場所になる。

No.67 / ヒント : スローライフ × 新エネルギー

フリーエネルギー

みんな何もしなくてもよくなる。

背景 : 科学技術の進歩によって、だれもがフリーエネルギーを使える社会が来る。フリーエネルギーによって。

No.68 / ヒント : スローライフ × エンタメ

Web が主体の人生を田舎で生きる

楽しみ方が Web 主体となり、場所を問わず人生を楽しめる。人生を楽しむなら、静かな田舎空間がいい。

背景 : 働かなくてもよくなり、趣味を謳歌する人が増える。

No.69 / ヒント: スロースライフ×電腦空間

スロースライフ体験オンライン

忙しい人生において「昔の田舎の良さ」を体験できる、丹波地域の生活をモチーフにしたオンラインゲームができる。

背景: 未来では人口減少に伴い過労問題が発生する。

No.70 / ヒント: スロースライフ×全自動化

衣食住完備のスロースライフ地域

空き家活用、農業自動化により食べるもの、住む場所を自動で提供できる仕組みを丹波地域で率先して行う。

背景: AIの発展で様々なものが全自動になる。

No.71 / ヒント: スロースライフ×田舎の概念が変わる

スロースライフ特区

丹波地域はスロースライフ特区として、自由に生きることが出来る地域として発信していく。

背景: 地域は、労働特区とスロースライフ特区に分けられる。

No.72 / ヒント: スロースライフ×ベーシックインカム

スロースライフ特区のベーシックインカム

丹波地域でベーシックインカムの効果を実証し、スロースライフ特区として地域住民にベーシックインカムを導入することを国に申請。

背景: ベーシックインカムが特定の地域だけで実施される。

No.73 / ヒント: スロースライフ×新エネルギー

モチベーション 5.0

スロースライフが生み出す人のモチベーション向上効果が証明され、丹波地域はモチベーション特区として認知される。

背景: スロースライフによって生まれる人のモチベーションはすごい。

No.74 / ヒント: スロースライフ×念力

瞑想 5.0

自然豊かな丹波地域で瞑想特区を作り、人生をより良く生きるための瞑想研究をする。

背景: 人間性が向上し、よりよい人生を生きるための瞑想が流行する。

No.75 / ヒント：スローライフ×キャッシュレス

自動決済スローライフ

丹波地域ではあらゆる生活を自動決済で行う仕組みを作り、お金を意識しなくても生活できるようになる。

背景：キャッシュレス化により、お金を意識しなくても良くなる。

No.76 / ヒント：スローライフ×教育の高度化

生き方の教育

豊かな自然空間で生き方を学ぶ教育を丹波地域で実施していく。

背景：仕事をするための教育ではなく、生き方の教育が行われるようになる。

No.77 / ヒント：スローライフ×AI問題

人の感情重視の生活により AI より常に一歩先へ

田舎における感情重視の人生はAIにとって理解が難しい分野となる。この田舎での生活を追求していくことでAIより常に一歩先にいくことができる。

背景：AIの発展でシンギュラリティが起こるが、その時点で人間はさらなる人間性を獲得している。

No.78 / ヒント：スローライフ×戦争

戦争 AI 研究

丹波地域で戦争のAI開発を率先して行い、「平和な戦争」を推奨していく。

背景：戦争は人ではなくAIが代行する時代になる。

No.79 / ヒント：スローライフ×趣味で生きていける

アーツスローライフ

アートを志す人達がより優れた作品を作る為に作られた生活費のかからないエコビレッジ。

背景：アート作品の現金化を全てAIが自動で行う。

No.80 / ヒント：スローライフ×ベーシックインカム

スローライフに生活費支給

世界が加速する中、サステナブルな社会を実践しているスローライフを実践している人たちに生活費を補助する。

背景：サステナブルな社会の実現が様々な要因で実現できない。

No.81 / ヒント: スロースライフ×制度の崩壊

バーチャル社会

バーチャルで行政、教育などが完結する社会。

背景: バーチャルリアリティが進歩し、五感の感覚まで再現しうる社会。

No.82 / ヒント: スロースライフ×寿命が無限

感覚延長社会

フルダイブ型バーチャル環境が整うことで時間の感覚を延長することが出来る。よって
体感としての永久に生きることが出来る存在になる。

背景: バーチャル技術の進歩。

No.83 / ヒント:

箱庭丹波

丹波地域の広大な特定のエリアを有料で貸し出し、ロボットの操作によって箱庭として
自由にカスタマイズできるようにする。家を建てたり、農作物を育てたりを遠隔でできる。

背景: AI の発展により、遠隔で様々な操作が可能になる。

No.84 / ヒント: スロースライフ×人口減少

スロースライフ教の爆誕

真のスロースライフ（生活と生業が一体となった農村の生活）の神化。

背景: 都会民がやるなんちゃってスロースライフは農村を支える人が減ってビジーライフ化する。

No.85 / ヒント: スロースライフ×AI の発展

AI の算出によりスロースライフ重視の生活に

スロースライフ重視の生活が大事な時代になり、丹波地域に移住者が増える。

背景: 人生を豊かに過ごすためにはスロースライフが欠かせないと AI が計算する。

No.86 / ヒント: スロースライフ×職がなくなる

ファストライフ先進地区

スロースライフがうらやまれる時代は終わり、あえて忙しく過ごすことが先進的だと見られる時代を見越して、無駄に仕事を大量に用意してく。

No.87 / ヒント : スローライフ×寿命が無限

人口制限

人口が増え続けるため人口制限ができる。

No.88 / ヒント : スローライフ×戦争

モデルケースとして発信して戦争をなくす

「自給自足で必要なモノがすべて身の回りにあったら、争いが起こらない」モデルケースとして、平和推進地区として発信する。

No.89 / ヒント : スローライフ×高度な移動

どこでもドア的な移動

一瞬で都会のオフィスに出勤→退社、今まで移動に費やしていた時間を田舎でのんびり過ごせる。

No.90 / ヒント : スローライフ×高度な配送・転送

ネットで注文した商品が即日届く

即日届くから都会より田舎に住める。

No.91 / ヒント : スローライフ×エンタメ

リモートお笑いライブ

リモートでお笑いが見れるから、わざわざ都会の劇場に足を運ばなくていい。

No.92 / ヒント : スローライフ×田舎の概念が変わる

AI と共存

田舎=不便というイメージだけど、足りないことをAIが補ってくれるシステムが構築されれば、田舎住みのメリットになる。

No.93 / ヒント : スローライフ×制度の崩壊

争いごとがなくなる

争いがないなら制度は不要。

No.94 / ヒント: スローライフ×人口が増えすぎる

土地を均等に分け与える制度

余っている土地を等しく分け与えることで都会は人口過密を避けれるし、田舎には人が流れてきて活気が出る、経済発展する。

No.95 / ヒント: スローライフ×電腦空間

自然環境に囲まれつつの電腦空間アクセス

どこからアクセスしても電腦空間に違いがないのであれば、リアルな環境は静かで自然豊かな方がいい。

No.96 / ヒント: スローライフ×全自動化

やりたいことだけの本格スローライフ実現

やらなくていいことは全てAIがやってくれるので、ガチのスローライフが実現できる。究極のスローライフを丹波地域で発信していく。

No.97 / ヒント: スローライフ×田舎の概念が変わる

AI 共産主義の推進によって丹波地域はスローライフ地域になる

「地域を発展させる」がAI共産主義により必要なくなり、田舎は自由なスローライフを求める人の場所になる。

No.98 / ヒント: スローライフ×国境がなくなる

スローライフ推奨の地域として世界から人が集まる

国境による常識、非常識の認識が統一されるので、丹波地域はスローライフ推奨の地域として開発を進めていき、自由な地域にする。

No.99 / ヒント: スローライフ×趣味で生きていける

ライフスタイルとしてのスローライフ

働かなくて良くなる時代になっているため、ライフスタイルとしてスローライフを取り入れる人が増える。スローライフならやっぱり丹波地域。

No.100 / ヒント: スローライフ×大災害

大災害対策をしてスローライフしやすい丹波地域に

あらゆる建物の耐震性を高め、自然を守ることで大災害に強い＝スローライフしやすい地域に。

No.101 / ヒント: スローライフ×高度な移動

車に住むようになる

自動運転で土地の縛りから人間は解放される。

No.102 / ヒント: スローライフ×エンタメ

時間がかかるエンタメ

山仕事や畑仕事など自然と付き合うことが趣味になっていく。

No.103 / ヒント: スローライフ×大災害

災害は発生してから対応できる

人間の脳が処理できる時間が増えて、自然現象の時間が遅く感じる。すると災害が発生した後でも対応が可能になる。

No.104 / ヒント: スローライフ×死後の世界

死後の世界の再現

丹波地域で天国を再現する。

No.105 / ヒント: スローライフ×国境がなくなる

離れていても繋がれる、スローライフコミュニケーション

グローバルにコミュニケーションが取れるので、移動を意識しなくてもコミュニケーションがとれ、移動時間が減り、スローライフできる。

No.106 / ヒント: スローライフ×趣味で生きていける

アイデア特化地区

良質なアイデアは暇な時間から生まれるので、スローライフと趣味を推奨して丹波地域はアイデア特化地区とする。

No.107 / ヒント : スロースライフ×言語の壁

植物の声を聞く Ai

植物の状態を言語化し、通訳することで生物としての本質に迫る。

No.108 / ヒント : スロースライフ×国境がなくなる

グローバルエコビレッジ

スロースライフを推奨するエコビレッジを全世界でつなぐオンラインコミュニティ。

No.109 / ヒント : スロースライフ×新エネルギー

AI による自然エネルギー発電の最適化

いくつもの自然エネルギーを組み合わせ完全な自己発電を実現。

No.110 / ヒント : スロースライフ×念力

自然の中で目覚める自身の力

超常的な力を開発する自然学校。

No.111 / ヒント : スロースライフ×キャッシュレス

自給自足の生活の豊かさを向上

資本主義経済から完全に外れて生きる地域。

No.112 / ヒント : スロースライフ×宇宙進出

小型ロケットで効率的な太陽エネルギーの確保

エネルギーに心配することのない小柄太陽光発電用ロケットを各コミュニティが実用。

No.113 / ヒント : スロースライフ×教育の高度化

自然の中で地球と共に永続的に続く社会

サステナブルな社会の実現に必要なスロースライフの考え方を必修科目にする。

No.114 / ヒント : スロースライフ× AI 問題

Ai 問題のない地域

AI の使用を生活に必要な事だけに制限する事で人らしく生きる地域。

No.115 / ヒント: スローライフ×情報漏洩

スタンドアローン AI

スローライフの実現の為にオンラインへの接続を制限している地域。

No.116 / ヒント: スローライフ×大災害

安全な山暮らし

臨海部で繰り返される大災害につかれた人達が集まる常設避難古民家。

No.117 / ヒント: スローライフ×戦争

どちらがよりサステナブルかを競う戦争

戦争はロボット同士の無人のものになり、人の争いはどちらの国がサステナブルかで争う。

No.118 / ヒント: スローライフ×格差社会

スローの差を競う社会

サステナブルな社会の実現を考えるとスローライフが推奨されるので各中山間地域の自治体でいかにスローかを競う社会の到来。

No.119 / ヒント: スローライフ×職がなくなる

田舎には仕事の概念がなくなる

田舎は農地の兼ね合いで生活に対しての不便はなくなるので仕事をしなくても生きていける生き方になる。

No.120 / ヒント: スローライフ×移民

人口の空いている都会に移民を受け入れる

災害や疫病により都市部にすむメリットがなくなり、都市部の空洞化が進む。その結果、町が機能しなくなるので移民の受け入れをすることで町を維持する。

No.121 / ヒント: スローライフ×田舎崩壊

スローライフ常識社会

田舎の常識が社会の常識へと変貌する。

No.122 / ヒント : スローライフ×生活の変化

田舎の山に生活基盤を置くほうが合理できたとわかる社会

仕事でリモート出勤を行う人には都市部にすむメリットがなくなっている。その上に都市部直下型地震が発生することで中山間地域の山の土地の価値が上がる。

No.123 / ヒント : スローライフ×人口減少

スローじゃないと人口減少現象

スローライフがサステナブルな社会に重要と証明された結果、都市部から山間部への移住が加速する。

No.124 / ヒント : スローライフ×人口が増えすぎる

データ人間社会

体ではなくデータとして人間を存在させる事が出来る様になり、人口の大半はオンライン上に存在することになる。その結果、人は際限のない時間の中でスローに生きる。

No.125 / ヒント :

誰でも服が作れるようになる

ネットでデザインを買って自宅の3Dプリンタで作るようになる。

No.126 / ヒント :

誰でも服が作れるようになる

ネットでデザインを買って自宅の3Dプリンタで作るようになる。

No.127 / ヒント :

ペットがバーチャル上で喋る

カウンセラー (AI でもいい) が話してくれて癒される。

No.128 / ヒント :

ペットのアバターをバーチャル上で飼う

亡くなったペットをバーチャル上でアバターにしてずっと一緒にいれるようになる。

No.129 / ヒント:

aibo のもっとリアルなペット

スムーズな動きをするふさふさの aibo が本当の動物より重宝される。本物の犬は猟犬や警察犬など働く犬しか残らなくなる。

No.130 / ヒント:

ご飯を誰かと一緒に食べることがサービスになる

ますます人間関係が希薄になり、1人で過ごす人が増え「誰かとご飯を食べる」ということにお金を払うようになる（貧困層のご飯食べれない人たちがご飯を作るのが好きな人がサービスを提供する）。

No.131 / ヒント: スローライフ×趣味で生きていける

ゆっくり

日々都会の満員電車で揺られている人を田舎の時間がゆっくり流れている場所に連れてくる。自分の足で自然に触れて生きるとは何かを考えてもらう。

No.132 / ヒント: スローライフ×新エネルギー

自然×新

自然に寄り添った環境で自然に優しいエネルギーを経験。新エネルギーを使った電気自動車を走らせる。

No.133 / ヒント: スローライフ×田舎の概念が変わる

田舎でのんびり

老後だけでなく、自然豊かな場所で教育を受けていく選択肢、のびのび生活を小さい時からする。

No.134 / ヒント: 趣味で生きていける 働き

趣味で生きていくスローライフ

田舎というスローライフスタイルで自分のための時間が増え、趣味を追求する時間。

No.135 / ヒント: スローライフ×言語の壁

地方別荘地計画

軽井沢的な感じで自然豊かな田舎にログハウスやレストランなどを作り、別荘地化する。そこにスローライフが進む今後は、リッチな外国人を呼び込み、1年の半分くらいをここで過ごしてもらえるような場所にする。

No.136 / ヒント : スローライフ×国境がなくなる

自宅からバーチャル旅行

自宅から VR 等を通してバーチャル旅行をできるようにする。

No.137 / ヒント : スローライフ×大災害

体力がなくなり大災害に人間は何も対応が出来なくなる

AI や自動化により体力がなくなるため大災害に対応できない危機が訪れる。

No.138 / ヒント : スローライフ×趣味で生きていける

趣味留学の受け入れ

趣味を深めたい留学生の受け入れを率先して丹波地域で行う。

No.139 / ヒント : スローライフ×大災害

常設仮設住宅

常設の仮設住宅を用意し、大災害にも強い地域として PR する。

No.140 / ヒント : スローライフ×高度な移動

丹波地域のスローライフ推奨

移動障壁が取り除き、スローライフを推奨していく。

No.141 / ヒント : スローライフ×高度な配送・転送

移動と配送の高速化による田舎住みのメリットが増える

移動や配送の障壁がなくなるため田舎住みのメリットが増え移住者が増える。

No.142 / ヒント:スローライフ×エンタメ

Youtuberは田舎が主軸になる。丹波Youtuberの早期排出

Youtuberをするなら田舎がやりやすいので、丹波地域で率先してYoutuberを今のうちから排出しておく。

背景: 高度成長に伴い田舎のスローライフの価値が向上する。

No.143 / ヒント : スローライフ×AIの発展

AIの発展によるスローライフの価値向上

AIが発展することで人がやらなくていいことが増え、スローライフの価値が高まる。

No.144 / ヒント: スローライフ×ベーシックインカム

働かなくて良いのなら丹波地域

ベーシックインカムを丹波地域で率先して導入し、「働かなくて良いのなら丹波地域」を売り出す。

No.145 / ヒント: スローライフ×AI の発展

スローライフ AI 研究特化地域

スローライフのあり方を AI で導き出す研究を丹波地域で積極的に行っていく。

No.146 / ヒント:

ライフラインを個人で整備

AI の登場によりライフラインを個人で管理できるようになる。